

●工事状況

5月初旬の受電から1か月以上が経過し、建物の中では本設の照明が順調に点灯し始めました。

内装工事では、全てのフロアで天井・壁の仕上げが終わりを迎え、残すところは床工事のみとなりました。室内だけでなく、廊下にも家具が付き始め、内装の完成形が見え始めてきました。

外装工事では、屋上部分での防水工事が着々と進み、外構工事では、建物の西側で駐輪場の工事が新たに始まり、敷地内の様子も大きく変化しています。

夏に入り本格的な暑さを迎えますが、体調管理に気を付けて、無事故無災害で工事を進めていきます。

定点写真



●壁の向こうは・・・？

皆さんは右の写真を見て何を思い浮かべましたか？酒樽？醤油樽？いいえ、実は受水槽なんです！

受水槽とは建物内で使用する水を貯留するための設備のことで、ビル・学校・病院等、一時に多量の水を使用する建物に設置されます。ステンレスや樹脂(FRP)の受水槽が一般的ですが、浜松医療センターの受水槽は市産材(天竜杉)で作られています。

木製の受水槽にするメリットの一つとして、製作過程でのLCCO2の排出量削減が挙げられます。我々建設業がSDGsに取り組む中で、この木製受水槽は環境問題に寄与できるのではないかと考えています。

地産地消！天竜杉を使用した木製受水槽



●工程

	令和5年 6月	工事進捗率	79.4%
外構工事	上空連絡通路工事/ 付属棟工事	7月	上空連絡通路工事/ 付属棟工事
仕上工事	内装仕上工事・外装工事		内装仕上工事・外装工事・家具工事
設備工事	機器据付工事・試運転調整		機器据付工事・試運転調整

●コラム《静岡県産‘甘々娘’で焼きとうもろこし》

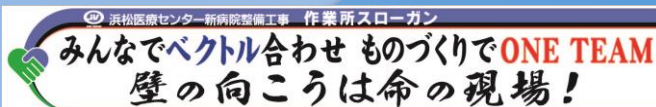
6月15日(木)に職長会の催し物として焼きとうもろこしを作りました。14日(水)に予行演習として焼きとうもろこしを100本焼き、その際に出た反省を生かし、15日(木)当日には900本も焼きました。かなり多い本数ですが、職長会一丸となって力を合わせ、美味しい焼きとうもろこしを作り上げることができました。

予行演習時にはバター醤油、ガーリックバター醤油、焼肉のたれやキャラメルなど、様々な味を試してみましたが…結局は王道の醤油味が一番美味しかったです。シンプルズベストですね！

こういった催し物を通して現場全体の士気を高めてラストスパート、浜松医療センター新病院の竣工に向け‘ONE TEAM’で進んでいきます。



焼きとうもろこしの香ばしい香り…



工事かわら版を毎月発行します。次回は7月下旬です。
発行：清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体
工事のお問い合わせはこちらまで TEL:053-488-5601